



世界を回す「**知の拠点**」に集結！

1年生が見た、**社会**と**世界**を支える科学の姿

令和8年6月12日、本校科学科1年生は、世界シェアをモーターのリーディングカンパニー、ニデック株式会社を訪問。世界最高峰の研究開発拠点での見学は、学校での学びがどのように社会に、そして地球環境の未来に直結しているのかを実感する極めて貴重な機会を得た！

科学の姿

川崎総合科学高等学校
科学科学校 HP
2026.7.15



「**数億円の迫力**」を肌で感じて

無響室やCT室など、最先端設備の
スケールと品質へのこだわりを圧倒！

見学のハイライトは、学校の実験室とは次元の異なる数億円規模の最先端設備。音を極限まで遮断する「無響室」、精密な電波干渉を測定する「電室（電波暗室）」、そして製品を破壊せずに内部を詳細に視察できる「CT室」など、普段では決して立ち入ることのできない研究現場を目の当たりにしました。

令和8年6月12日、本校科学科1年生は、モーターの世界シェアでトップを走るニデック株式会社を訪問しました。4月に入学してからわずか数ヶ月、。高校での科学の基礎を学び始めたばかりの生徒たちにとって**世界最高峰の研究現場**を肌で感じることができ、この研究機関訪問は、これからの3年間の学びの方向や自分の進路を考える上で、重要な機会となりました。

生徒たちは、スマートフォンや家電といった身近なものから、自動車、医療機器、さらには宇宙開発に至るまで、ニデックの技術がいかに多様な分野で社会基盤を支えているかに圧倒されました。特に、**製品を安全に世に送り出すための厳格な品質管理や、効率的なモーターによって消費電力を抑え地球環境に貢献する**という企業の使命に触れ、科学の力がもつ社会的責任の重さを肌で感じ取っていました。

「モーター」の概念を覆す探究の広がり
事前学習では「モーターを作る会社」というイメージをもっていた生徒たちでしたが、**実際に見学した研究内容は驚くほど多角的なものでした。**液冷ソリューションなどの熱対策技術、高度な制御ソフトウェア、さらには「フクロウの羽の構造」をファンの設計に応用して騒音を抑える「バイオミミクリー（生物模倣）」など、分野横断的な研究が展開されています。

「一つの専門分野に固執せず、幅広い知識を繋ぎ合わせる」ことが新しい価値を生む」という事実は、これから課題研究に取り組む1年生にとって大きな刺激となりました。一見すると無関係に見える生物の構造が最先端技術のヒントになるといふ科学の面白さに、多くの生徒が目を輝かせていました。

座談会で大きく変わった職業観
施設見学後に行われた研究者との座談会は、生徒たちの「将来像」が大きく変わるきっかけとなりました。「研究者は一人で黙々と作業する」という先入観は、**活発なコミュニケーションを通じてチームで**



プロの志
を書き留める

研究者の熱い言葉を漏らさぬように
全員が真剣にペンを走らせメモを取る！

課題を解決するプロの姿を知ることで見事に覆
されました。
無数の試行錯誤を泥臭く繰り返すプロセスの重要性や、「大人の社会は想像していたよりもずっと明るく、社員の方々が楽しそうに仕事を語る姿」に触れたことで、将来働くことへのポジティブな希望が芽生えたようです。

未来への一歩…日常の学習が「世界」へ繋がる
今回の訪問は、生徒たちの学習姿勢・意欲を変えるきっかけとなりました。事後アンケートには「将来の選択肢を広げるために、今は苦手な理科目や英語の基礎を全力で固めたい」といった決意が並んでいます。

「本物の科学」が灯したこの情熱を胸に、1年生は新たな探究のステージへと踏み出します。世界を相手にする技術者・研究者への第一歩を、彼らはこの日、確かに踏み出しました。